

にかほ

# 福祉だより

第7号

平成19年4月1日

編集発行

社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会  
秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1  
TEL.0184-32-3020 FAX.0184-37-2852



～ 活気の渦に包まれました ～

## 単身高齢者交流会

2月27日(火)、「はまなす」において、金浦地区の「単身高齢者交流会」が開催されました。当日は、単身高齢者世帯や老夫婦世帯等の方々、約70人が参加し、自慢の踊りや歌声を披露したり、その演芸を觀賞したりして過ごしました。会場には、皆さんの笑い声が響き渡り、一日を満喫した様子でした。



ごあいさつ



にかほ市社会福祉協議会  
会長 細矢 鐵雄

暖冬異変という言葉は聞き慣れて久しいと思いますが、今年は何を見ない暖冬であり先行き心配である事は私ばかりではないのではと考えているこの頃であります。市民ご一同様には如何お暮らしてでしょうか。

さて、社会福祉協議会も皆様のご協力と行政はじめ、関係各機関のご指導により元氣な経営と運営をしていることをまずご報告申し上げる次第であります。

人は慣れると感覚が麻痺するものと思えます。一昨年、市町村合併、そして社会福祉協議会の合併と意気を揚げたにも関わらず、何か遠い日のことのように感じられて来ました。

それは問題や課題に旧三町の市民が懸命に取り組みながら将来に向けての、にかほ市の像を追い、前を見つめているからではないかと思えます。社会福祉協議会も市民各位のご協力を頂き、大体において、市社協としての恰好がつかましました。特に役員が真剣に議論し、社協像を描きながら活動して頂けることは何よりも力強いことであります。私たちはまず知ることから出発し、考えながら行

動展開を行うと共に、優しさを共有する市民社会の構築を目指すべきであります。知ること、識ることは教育であり、学習であります。少子高齢社会は今世紀の課題社会であり、先進国という仮名称の国々は避けて通れない過程であります。現実論、子供や孫たちの未来に思いを馳せている人々が多数いることは事実であります。内に己自身の老後を考え、外にテロ活動や地球規模の環境変化を憂い、それぞれが揺れ動いている現状であります。

私たちは現実を直視し逃げ出さずに向き生きる力を持ちたいものと考え、社協活動も市民個々と連携を保ちながら少しでも幸せの輪を広げるべく努力したいと考えております。今まで以上のご支援を賜りますよう、切にお願い致します、挨拶に代えたいと存じます。

平成十九年四月

平成19年度 基本目標と基本方針

基本目標

近年、社会福祉を取り巻く環境の著しい変化に伴い、社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図る団体」として法律上明確に位置付けられ、その役割は大きく広がり、活動も多岐にわたっています。そのような中、地域住民の個々のニーズの把握に努め、だれもが安心して暮らすことのできる環境づくりと自立した生活ができる社会を目指しながら、地域福祉サービスを提供する上で、あらゆる関係機関・組織・団体等との協働、連携を一層強化し、「地域で支えるまちづくり」を進めることを目標とし、積極的な福祉活動を目指します。

基本方針

1. いつでも誰もが安心して気軽に利用できる各種サービスの供給支援体制の整備、実施に努めます。
2. 地域における住民ニーズや福祉課題を把握し、すべての機関、組織、町内会、福祉関係団体、地域住民等と課題を共有して、ニーズ実現のための協働体制を整備し、総合的な支援を目指して事業推進に努めます。
3. 支え合うまちづくりのため、個別の課題と要望を把握し、その課題解決と要望の実現に向け、地域福祉トータルケア事業の推進に努めます。
4. 地域において家に閉じこもりがちな高齢者の孤独感の解消や心身機能の向上等を図るためにも地域に出向き交流に努めます。
5. 社協の役割と機能を活かし、財源の確保と意識的に自立できる社協に努めます。

## 平成19年度 事業計画

にかほ市社会福祉協議会は、地域住民のニーズに応えられるよう、平成19年度は、以下の事業を実施致します。主な事業は、次のとおりです。

### 法人運営事業

- 理事会・評議員会・監事会の開催
- 各分会・委員会の開催

### 在宅福祉事業

- 福祉用具等貸与事業
- 防火査察事業
- ネットワーク活動事業
- 家族介護教室事業

### 居宅等介護事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 通所介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 障害福祉サービス事業
- 介護予防通所介護事業
- 介護予防訪問介護事業
- 苦情・相談窓口設置

### 赤十字事業

- 日本赤十字社社費への協力
- 通学路の安全・見守り運動
- 赤十字奉仕団に協力

### 共同募金事業

- 共同募金運動への協力
- ボランティア育成事業
- シルバー健康推進事業
- ふれあい交流会
- 単身世帯等料理教室
- 出前サロン事業
- 地域福祉活動推進事業
- 各種団体への助成
- 福祉員会議
- 親子リフレッシュ教室
- おもちゃライブラリー事業
- 手話養成講習会

### その他

- 介護用品購入取次ぎ事業
- 行政との連絡調整協力

### 地域福祉事業

- 地域福祉ネットワーク事業
- 地域福祉権利擁護事業への協力
- ボランティアセンター・ボランティアステーション事業
- 福祉だよりの発行
- 地域福祉トータルケア事業
  - 体力年齢評価事業
  - 心の相談事業
  - 司法書士による相談事業
  - 住民ニーズ把握事業
  - 住民座談会事業
  - 高齢者生活支援買い物ツアー事業
  - 日常生活用品受注配達事業
  - 花のメッセージ事業

### 受託事業

- 特定・一般アクティビティ事業（ミニデイサービス）
- 栄養改善事業（配食サービス）
- 外出支援事業
- 介護予防ケアマネジメント
- 緊急通報システム運営事業
- 生活管理指導員派遣事業
- 要介護認定調査事業
- 軽度生活援助事業
- 地域福祉総合推進事業



▲サマーボランティアスクール



▲一般アクティビティ事業

### 相談事業

- ふれあい福祉相談所事業
  - 無料法律相談等

### 資金貸付事業

- たすけあい資金貸付事業
- 生活福祉資金貸付事業

### 公益事業

- いきいきシルバー人材センター事業
- 公共施設食堂を運営する事業



▲赤い羽根共同募金運動



▲通学路見守りパトロール

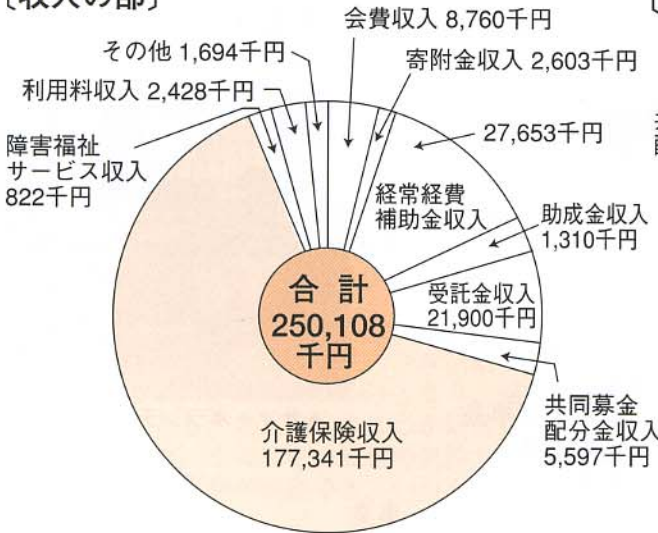


▲人材センター 剪定講習会

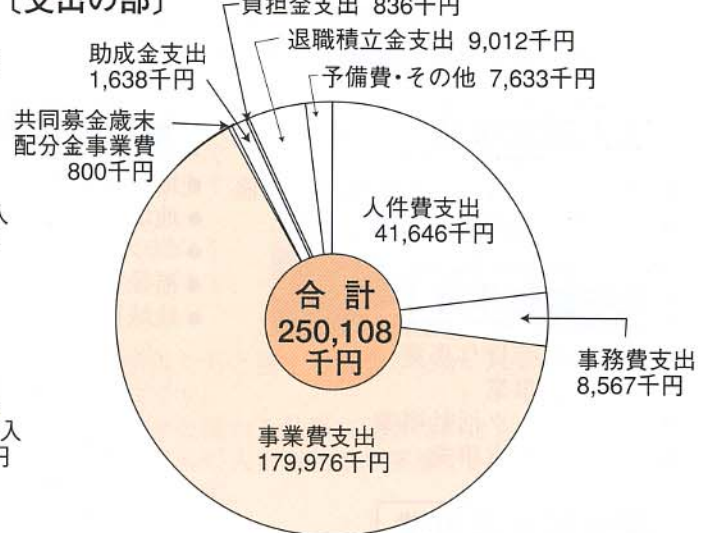
★ 事業内容を詳しく知りたい方は社協までお問い合わせ下さい ★

### 平成19年度 一般会計予算

#### 〔収入の部〕

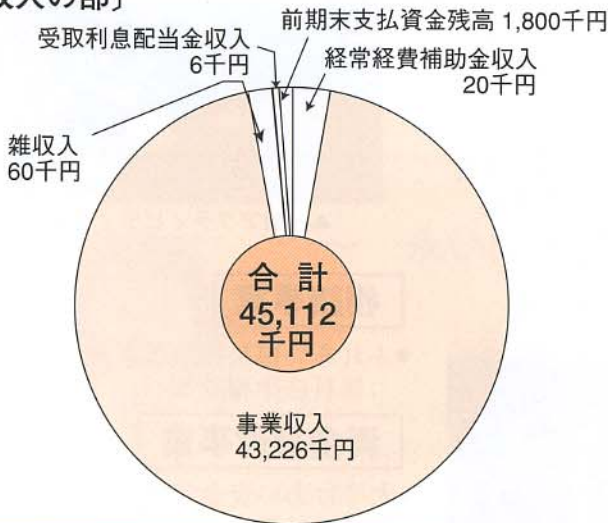


#### 〔支出の部〕

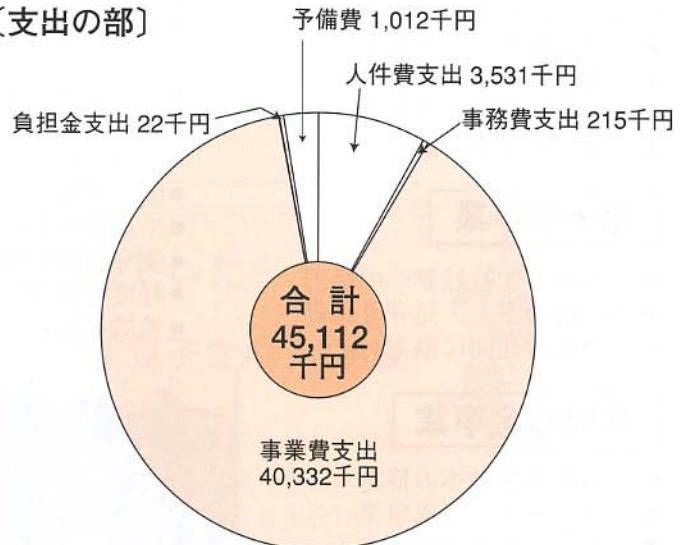


### 平成19年度 特別会計予算

#### 〔収入の部〕



#### 〔支出の部〕



▲ 吉田常務理事

— 地域の取り組みを紹介 —

#### 地域福祉トータルケア事業 「福祉講演会」

3月2日(金)、スマイルにおいて地域福祉トータルケア事業の一環として、「福祉講演会」が開催されました。

当日は、トータルケアサポート運営委員、民生児童委員、ボランティア関係者、社協役員等、約80人が参加しました。「地域で支えるまちづくり」と題し、秋田県社会福祉協議会常務理事の吉田慶嗣氏より徳島県上勝町の取り組みについて紹介していただきました。上勝町は、人口約2千人の町で、65歳以上の方が約半数をしめる農村地帯です。しかし、

町の女性や高齢者がいきいきと働いているそうです。町では、彩(いろどり)事業が成功し、町民が一丸となって、この事業に力を注いでいます。豊富な自然を武器に、山にある葉や草花を利用し、料理に添える「つまモノ」を作り、料亭等に出荷しています。今ではこの事業が全国に広まり、各地から注文を受けているそうです。この事業を実施した結果、町では医療費が4億円減少し、寝たきり老人は町内に一人しかいないそうです。会場に足を運んでくれた方々は、とても興味深い内容のお話に、耳を傾けていました。



### 象潟中学校1年生 「ハンディキャップ体験学習」

2月6日(火)、象潟中学校1年生の皆さんが福祉学習の一環として、「ハンディキャップ体験」を行いました。特殊な装備を着けて行く高齢者の疑似体験や、車イス介助、アイマスクなどを利用した視覚障害体験などを通じて、高齢者や障害のある方が普段の生活でどのような不便を感じているか学習すると共に、介助やお手伝いをする際に気を付けることなどについて話し合いました。

今回初めて「ハンディキャップ体験」をした生徒さんも多く、「今回の体験で得たことを生かして、高齢者や障害のある方への理解を深め、思いやりの気持ちを持って接したい」といった感想が多く寄せられました。



▲車イスを使って介助方法を学びました

### 釜ヶ台地区ふれあいサロン



▲いつになく真剣なまなざしです

2月22日(木)、釜ヶ台地区の4集落(釜ヶ台・冬師・上坂・下坂)において「釜ヶ台地区ふれあいサロン」が開催されました。これは、日頃外に出る機会の少ない高齢者の方々を対象に、一日を楽しく過ごしていただこうと開催されたもので、当日は、約60名の方が参加して、交流を深めました。

午前中はボール回し競走や“365歩のマーチ”に合わせた体操で体をほぐし、午後からは「轟民謡研究会」の皆さんによる芸能発表が行われ、部屋いっぱいに響き渡る歌声に聞き入っていました。参加した皆さんの顔は、笑顔に満ち溢れ、とても満足した様子でした。



## 災害について考えよう!!

### 地震発生! 初めにすること・準備すること

地震が起こった時、皆さんは一番初めに何をしますか? また、どんなことを準備していますか?



平成7年に起こった阪神・淡路大震災では実に6,434名の尊い命が失われています。この亡くなられた方の死因の82%は家具や倒壊家屋による圧死です。

地震が起こった場合、あなたはどのようにしますか? 机の下に隠れ、じっとしているなどが一般的な答えとなっていますが、地震の規模などによっては家屋の倒壊などによって身動きがとれなくなることもあるので、すぐに避難した方がよい場合があります。最近では、地震対策として衝撃吸収剤などをたんすや本棚などに取り付け、地震が起こったときに倒れないように工夫している方が増えています。大体3千円から4千円でたんすや家具につけるシートは販売しています。災害はいつやってくるかわかりません。一番大切なのは命です。地震が起こる前に準備してみたいはいかがでしょうか。

また、地震対策として、水や食料などの非難グッズを袋に詰め、用意されている方も多くいらっしゃいます。それ自体は間違いではありませんし、必要なことですが、意外なことに地震直後を除いては、水や食料が不足したという話はないそうです。

地震に対し準備していただきたいのは、日頃から近くにある丈夫な建物と避難場所への経路の把握と命を救う三点セットと言われている「のこぎり・ボール・ジャッキ」の所在を確認し、いつでも持ち出せるようにしていただきたいということです。

繰り返しますが、大切なのは命です。準備にやりすぎということはありません。準備は万全にし、いざ地震が起きた場合はすぐに避難場所へ避難して下さい。

# インタビュー

今回は、象潟支所勤務の齋藤正志<sup>ただし</sup>さんと仁賀保支所勤務の佐々木輝子さんにお話を伺いました

★ 社協ではどんな仕事をしていますか？

- (正) 地域福祉に関する業務や庶務、会計など事務関係の仕事が主ですが、ヘルパー以外のいろいろな仕事をさせて頂いております。また、ケアマネージャーも兼務しております。
- (輝) いつも笑顔での対応を心掛け、介護保険の手続きやサービスを利用するためのお手伝いをするケアマネージャーをしています。



★ 福祉の仕事に携わろうと思ったのはなぜですか？

- (正) 学生の頃、実習やサークル活動を通じて、障害のある子供たちと接する機会が多かったので、こうした体験がきっかけとなり、福祉に興味を持ったからです。
- (輝) もともと人と接することが好きだったので、以前から人々と関わる仕事に就きたいと思っていました。そんな中、福祉の気持ちを持って人と接し、たくさんの人から元気や笑顔をもらうことで自分自身が成長でき、いつも笑顔でいられると思ったからです。



▲齋藤さん(左)、佐々木さん(右)

★ 最後に市民の皆様へ自己アピールをお願いします

- (正) 社協に勤務してから10年が経ちましたが、いまだに自分の未熟さを痛感することも多々あります。今後も皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。
- (輝) 介護保険制度がどんどん改正され難しくなっており、高齢者の皆さんには分かりにくい事だらけかと思われます。皆さんに分かりやすく説明でき、互いに勉強しながら相談にのっていただければと思っています。そして、老後に笑いのある生活が送れるよう、サポートしたいと思います。

## ～ 永い間、ご苦勞様でした ～



仁賀保支所長 **阿部美重子さん** ご退職



やわらかな春の陽ざしに桜の花がほころび始めようとしています。

旧仁賀保町社会福祉協議会が昭和45年に法人認可され、同時に専任職員として勤務以来、36年余の歳月を過ごし、多くの方々と出会い、教えられ、支えていただき、歩んでくることができました。

思えば社協発足当時、生活困窮者に対しての法外援護、共同募金、歳末たすけあい運動など、奥の深い福祉の世界で改めて人としての生き方や人間関係のむずかしさと喜びを様々な関わりの中で学ばせていただきました。心から感謝申し上げます。

又、多様化する住民ニーズに応えることを求められている中で社会福祉協議会が、福祉の軸とし今まで以上に活動されますよう、益々の発展を祈念して、退任の言葉とさせていただきます。

＝バトンタッチ＝

4月1日付けで仁賀保支所長に  
田口和夫(前企画福祉課長)が就任  
しました。よろしく申し上げます。

### 介護のことについては、下記までお気軽にご相談下さい。

## 介護事業所

- ・象潟居宅介護支援事業所      にかほ市象潟町字浜山121番地2      ☎43-2543
- ・金浦居宅介護支援事業所      〳      金浦字金浦321番地1      ☎38-2375
- ・にかほ居宅介護支援事業所      〳      平沢字八森31番地の1      ☎32-3011

\* 相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

# お知らせ

## 『まがりや』営業開始!!

新年度を迎え、冬期間休業しておりました「まがりや」が4月1日(日)に営業を再開致します。横根の薫風苑の隣にありますので、皆様是非お立ち寄り下さい。尚、今年度より新メニューを追加致しました。新しい味を是非、ご賞味下さい。



### 《 新メニュー 》

- カレーうどん 600円
- きのことそば 600円
- まがりやセット 700円

〔うどん(小) または そば(小)、炊き込みご飯、小鉢、漬物、デザート〕

## ふれあい相談日

### ○無料法律相談 (弁護士対応)

日時 4月26日(木) 午前10時~12時  
 場所 仁賀保支所(スマイル)  
 担当 津谷 裕 貴 弁護士  
 申込先 仁賀保支所(☎32-3010)  
 期限 4月9日(月)

日時 6月18日(月) 午後1時~4時  
 場所 象潟支所(老人福祉センター)  
 担当 平野 一 史 弁護士  
 申込先 象潟支所(☎43-2543)  
 期限 6月11日(月)

### ○こころの相談 (臨床心理士対応)

日時 ①4月14日(土) 午後2時~5時  
 ②6月16日(土)                   〃  
 場所 象潟支所(老人福祉センター)  
 担当 安藤 隆彦 先生(臨床心理士)  
 申込先 象潟支所(☎43-2543)  
 日時 ①4月 9日(月)  
 ②6月11日(月)  
 定員 1日各2名(先着順)

### ○司法書士による相談 (司法書士対応)

日時 5月10日(木) 午後2時~4時  
 場所 金浦支所(元気百歳館)  
 担当 渡辺 嘉宏 司法書士  
 申込先 金浦支所(☎38-2375)  
 期限 5月2日(水)

### ○一般相談 (相談員又は職員対応) 随時各支所にて対応します

## 寄贈ありがとうございます

### ★「日本財団」様より 昇降シート車輛 ★

「日本財団」様より助手席が車外にせり出し、車椅子の方や足腰の不自由な方が楽に乗車することができる昇降シート車輛を頂きました。



▲在宅福祉事業で利用させていただきます

### ★「株式会社FM秋田」様より 車イス ★

「株式会社FM秋田」様より車イスを2台頂きました。今後、地域の方々へ幅広く活用させていただきます。



▲利用者の皆さんも喜んでます

# 善 ありがとう 意

(3月15日現在)

## ◎香典返しとして金一封をご寄付されました

- ・土井千枝子様 (関)
- ・大友正司様 (小砂川2区)
- ・齋藤正明様 (横岡)
- ・小野寺正英様 (立石1区)
- ・佐藤英栄様 (大町)
- ・金藤純様 (妙見町)
- ・齋藤忠造様 (本郷)
- ・佐藤忠志様 (武道島1区)
- ・金子丸夫様 (冠石)
- ・村上上治様 (横岡)
- ・阿部一丸様 (小滝)
- ・古田薫様 (栄町)
- ・齋藤藤太郎様 (小砂川1区)
- ・齋藤永太郎様 (松ヶ丘)
- ・阿部辺樹様 (横岡)
- ・工藤藤利子様 (下荒屋)
- ・佐藤文一様 (浜金浦2区)
- ・佐々木鐵様 (赤石2区)
- ・幸林一郎様 (花湯)
- ・尾形実清様 (北金浦1区)
- ・樽形八博様 (岡の谷地1区)
- ・板垣弘幸様 (駅通り区)
- ・大藤敏久様 (北金浦2区)
- ・龍山下正隆様 (駅通り区)
- ・増村靖政様 (十二林1区)
- ・齋藤貞憲様 (新丁2区)
- ・伊板谷敏信様 (三森)
- ・阿藤部信堅様 (百目木)
- ・阿藤部重樹様 (平沢)
- ・阿藤部吉太様 (平沢)
- ・阿藤部幸吉様 (平沢)
- ・阿藤部勝太様 (平沢)

## 〈共同募金会へ〉 続き

- ・道の駅象潟ねむの丘職員御一同様 13,000円
- ・道の駅象潟ねむの丘オノ神社様 40,107円
- ・吉川耕一郎様 (大谷地) 10,000円
- ・にかほ市老人クラブ連合会 象潟町支部 様 20,000円
- ・石川フキ子様 (立石2区) 1,518円
- ・渡部トシ子様 (立石2区) 1,800円
- ・平沢地区地域婦人会 (会長 渋谷久子) 様 20,000円
- ・ボーイスカウト秋田第19団 (指導者代表 佐々木耕二) 様 60,743円
- ・はまなすスポーツクラブ (代表 齋藤真理子) 様 6,192円
- ・両前寺なまはげ会 (代表 木内敬三) 様 5,000円

## ◎社会福祉に役立てて下さいと物品等をご寄付されました

- ・象潟地区婦人会 (会長 神原サクエ) 様 清拭タオル334枚
- ・湯見町1区集まろう会 (代表 菊地妙子) 様 清拭タオル70枚
- ・齋藤敏明様 (中橋町) 紙オムツ多数
- ・齋藤金男様 (小滝) 紙オムツ多数
- ・下荒屋老人クラブ様 タオル55枚
- ・金子葉子様 (立石1区) 将棋セット1式
- ・横町婦人学級 (代表 森美智子) 様 清拭タオル52枚
- ・菊地ツネ子様 (平沢) 雑巾300枚

## ◎社会福祉に役立てて下さいとご寄付されました

### 〈社会福祉協議会へ〉

- ・安楽寺金剛講御詠歌 寒修行講員一同様 30,000円
- ・匿名 様 36,000円
- ・匿名 様 18,800円

### 〈共同募金会へ〉

- ・道の駅象潟ねむの丘 支配人 山田勝四郎 様 3,000円

編 細 矢 鐵 雄

世の美女たちよ考えられたしと思う。

季節の花 林檎の花  
花ことはば 最も美しい女性へ 誘惑  
夢のいろのうす紅や花りんご 及川貞  
戦後、私たちに元気を与えてくれた「リンゴの唄」を思い出す。濱田豊の本にギリシャ神話の「争いのリンゴ」が書かれている。結婚式に招かれなかつた女神エリスは、婚禮の席に「最も美しい女性へ」と書いたリンゴを投げ入れた。王の妻ヘラと、戦いと知恵の神アテナ、愛と美の神アフロデイトは自分こそはと思いつつたという。



# 花ことば



## どんな事でもお気軽にご相談ください。

- ・本所 秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1 ☎32-3020
- ・象潟支所 〃 象潟町字浜山121番地2 ☎43-2543
- ・金浦支所 〃 金浦字金浦321番地1 ☎38-2375
- ・仁賀保支所 〃 平沢字八森31番地の1 ☎32-3010

※相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

## 数字で見るにかほ市

(平成19年3月15日現在)

人口	29,197人
世帯数	9,379戸
65歳以上	7,910人
高齢化率	27.1%

「にかほ福祉だより」は、赤い羽根共同募金配分金や社協会費の一部を活用して発行しております